



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究・研修の工夫	評価方法の工夫	家庭や地域との連携の工夫
◇週2回15分間の短時間学習を設定し、算数・国語の基礎基本の定着を図る。 ◇特色ある教育活動の充実を図る。〔夏祭り・おはなしわくわく・なわとび大会・走ろう会等〕	◇年間指導計画・評価規準を見直し、授業における指導と評価の一体化を図る。 ◇3年～6年の算数科少人数を実施し、個に応じた指導を工夫する。 ◇各教科・領域で言語活動の充実を図る。	◇研究主題「進んでかかわり合い、伝え合う子供の育成」 ◇公開研究授業〔年間3回〕や事前授業の充実を図る。 ◇研究主題を受けて全教員が他教科で課題を設定し、研究授業をする。	◇1時間での評価規準を1項目に絞る。 ◇国語科ではワークシートを使用せず、観点別に適切な評価をする。 ◇自己評価や相互評価を取り入れ、教師は賞賛励ましの評価をする。	◇2学期に学校公開を1週間行い、学校説明会を実施。 ◇11月に道徳授業地区公開講座を実施する。 ◇育成会や保護者と協力して夏祭り、わくわくコンサートを実施し相互の交流を図る。